

審査請求 私もします

生活保護引き下げに憤り

新潟・電話相談

6、7日に、生活保護引き下げホットライン（電話相談）が全国で取り生まれ、新潟県では県生活と健康を守る会連合会事務所で、

渡辺和子会長、大澤理尋弁護士らが電話相談を受けました。県内だけでなく、群馬、福島からも含め24件の相談がありました。

開始時間の午前10時を過ぎると電話が鳴りだしました。三条市の男性は「子どもは発達障害、妻は知的障害があつて、やりくりが大

変なうえに保護費引き下げでは。審査請求をぜひしたい」と話しました。上越の男性は「障害年金が出たら保護費の返還命令が来た。納得がいかない」と訴えました。

長岡市の男性からは「交通事故の補償金が出たが収入認定されてしまう。本当にそうなっているのか知りたくない」と怒りが伝わる電話です。佐渡市の72歳の男性は「保護費が引き下げられた。人並みに生きてもいいではないか。審査請求をします」ときっぱり。ほかにも「弁護士に相談して社会福祉協議会へ行ったが借金をさせら

れ、保護は受けられなかった。車中で生活をしました。リーマン・ショックで解雇されて仕事がない」など、深刻な実態が多く寄せられました。



切実な相談と怒りが寄せられたホットライン116日、新潟市